

架けはし

～堅い石屋のやんわり話～



石元石材工業株式会社

神戸市兵庫区菊水町9-17-6

0120-82-1410

URL <http://www.ishimotosekizai.co.jp>

e-mail info@ishimotosekizai.co.jp



ねむの花

暑中お見舞い申し上げます。



鬱陶しい梅雨も明け、厳しい夏の日差しが降り注ぐ日々が続いて
おりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。日焼け対策、
熱中症対策等、夏は気をつけることが多いですね。くれぐれも
体調管理には気をつけて夏を乗り切ってくださいませ。

さて、今回の「架けはし」VOL9では、主に神戸市営墓地で見られる
お墓のデザインの移り変わりを簡単な年表とともにご紹介させて頂き
ます。

平成30年度神戸市営墓地 随時募集受付について

受付予定期間 平成30年9月3日(月)～31年2月28日頃

受付予定墓園 **鶴越墓園** (再貸付墓地のみの受付で無くなり次第終了)

日付、受付場所については昨年度までの実績を基に当社が推測したもので確定ではございません。

正式な内容は9月初旬に発表の予定です。詳しくはお問い合わせ下さい。

申込手続きは
イシモトに
お任せ下さい

受付区分は再貸付のみ(春募集の残区画が対象)

昨年は春の募集で残った区画に前年までの残った区画
が追加されて受付されました。

平成30年度**随時募集** (鶴越)

再貸付区画 春の残り区画 約300区画
例年舞子墓園と西神墓園は対象外となります

お墓のデザインの移り変わり

近年お墓のデザインが多様化し様々なお墓が作られるようになってまいりました。

そこでお墓のデザインの移り変わりを神戸市営墓園の動きとその他の出来事を年表にあげて関連性を考えてみました。



お墓のデザインの移り変わり

バリアフリー型舞台



バリアフリー型舞台は墓所入り口から墓石までの間の面積を出来るだけ広く取り、上段に上がらなくて良いお参りのし易い墓所となる。バリアフリーでもオープン型等の発展型も生まれデザイン墓や和洋折衷の墓石にもなじむ。近年、建碑される方々から多くの支持を集めているデザインです。

平成中期～現在

平成初期～平成中期頃

この舞台の形は関東や東海地方で昔から作られていた形で、関西ではほとんど見かけることが有りませんでした。神戸では平成元年から翌年に、当社においてこの形に少しデザインを加えて作り始めたのが最初である。見栄えも良く、入り口両端に門柱を配し、その間を全て階段とすることによって重量感があり間口が狭い土地でも広く感じるようになる為、人気が出たデザインです。

関東型舞台



耐震施工とは



耐震コーキング接着剤



L型金具固定

平成7年震災後～

平成7年1月に起きた阪神淡路大震災により、お墓の倒壊被害がかなり出たことでお墓に対する耐震の意識が高まったと言えます。そのような意識の高まりに応えるように墓石業界でも、耐震を考えた道具や素材が開発されました。その中でも特に広まったのが耐震接着剤と連結用のL型金具です。震災までは石と石の接着にはセメントのみで行っていましたが、耐震強度が高く石への影響が少ない専用の接着剤が開発され広く使用されるようになりました。又、石の接続部分の補強にL型の金具とアンカーボルトも開発され、その金具で固定することで強度がかなり増すようになりました。当社でも新設時は標準仕様です。

昭和38年～昭和後期

この舞台の形は敷地の真ん中に階段が1ヶ所有り、すっきりとした仕上がりで価格が安く出来るのが特徴である。割石を1段組んだ上に細長く切った延石を据え付けていたが後年は高延石を用いて割石を組む構法は少なくなった。このタイプの舞台に玉垣を付ける場合、細工が細かく、部材数や石の量が増えるので施工手間がかかり価格も高く、高級型となります。

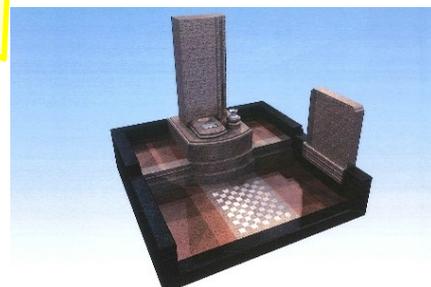
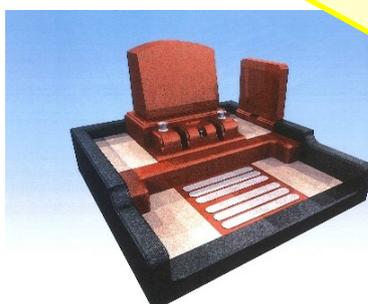
関西型舞台+和型石碑



鉄の欄干が無くなった玉垣



新しいニーズに対応したデザイン墓





お墓のデザインが変わるきっかけは多々あったと思いますがその中でも特に大きな影響をもたらしたのは**阪神淡路大震災**では無いかと思われます。また**少子高齢化**に伴いお参りをされる方の負担を考え少しでも楽になるようにと言う配慮からもデザインが変わってきたのではと思われます。最近特にご要望の多い《雑草が生えにくく》《お手入れが簡単》《階段の上り下りをしなくて良い》《出来れば地震の揺れに強く》といった条件を考えますとバリアフリー型で洋式型のお墓が多くなってきたのもおわかり頂けるかと思ひます。特に神戸市営墓地では永らく仏様をお持ちの方のみ受け付けておりましたので平成12年頃までは**故人に対してのお墓作り**、近年では仏様が無くても申込が可能な再貸付墓地の受付開始により**ご自分用のお墓を**と言う方も多くなりデザインが変わるきっかけとなったのではと思われます。

移転された地区

昭和38年から始まったお墓の移転は昭和52年までのおよそ15年かけて工事が行われました。市内各地より引越しをされたお墓はおよそ20000基になるようです。



次号のご案内

次号「架けはし VOL10」ではメインのテーマを今回御紹介致しました今、人気のバリアフリー型舞台ですがその人気の秘密と関西型からバリアフリー型への実際のリフォーム工事を御紹介出来ればと思っております。尚、都合によりテーマが変更される場合も御座いますのでご了承下さいませ。又お客様よりこんなテーマを取り上げて欲しいというご要望も受け付けておりますのでよろしくお願い致します。

